

## 今日のキーワード ギリシャ危機再燃(欧州)

ギリシャは2009年に財政赤字がこれまでの公表よりも大幅に膨らむことを明らかにしました。これをきっかけに国債の債務不履行(デフォルト)懸念の高まりが周辺国に波及し、欧州債務危機に発展しました。国際通貨基金(IMF)などの二度の支援により危機は収束に向かいましたが、条件として受け入れた緊縮的な財政に対する国民の不満は足元で再び高まり、不透明感が増しています。

### ポイント1

## ギリシャ国債の利回りは上昇、ドイツ国債との利回り差が再び拡大

ギリシャの10年物国債の利回りは8%超

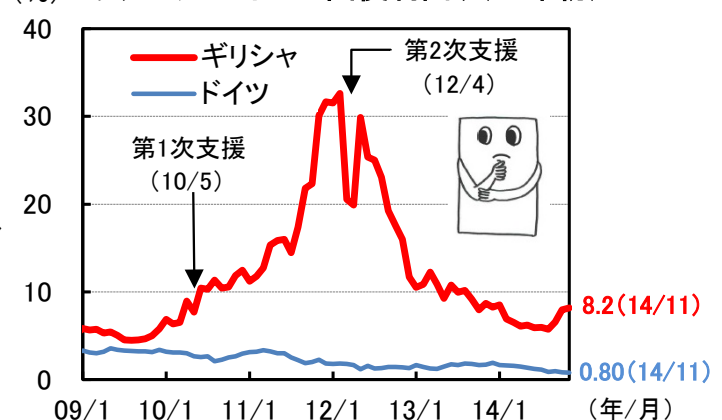
- ギリシャ国債利回りは、2012年4月に2回目の支援を受けてから低下傾向にありましたが、足元で上昇しています。2015年3月に任期満了に伴う大統領選挙が予定されており、これを巡り緊縮財政に反対する野党が優勢となる観測が強まっているためです。
- サマラス首相は、財政が好転しているとして、2016年3月末に期限を迎える金融支援プログラムを今年12月末に終了させたい意向を示しました。金融支援の条件となっている緊縮財政からの早期脱却を図りたい考えと見られます。これに対し支援側の欧州連合(EU)や欧州中央銀行(ECB)は歩み寄りの姿勢を今のところ示していません。

### ポイント2

## 景気は後退局面を脱し拡大へ 財政改善に首相は自信

- 7-9月期のGDPは前期比+0.7%と2四半期連続でプラスとなり、景気後退を脱したと見られます。失業率は25.9%(8月)と依然高水準ながら徐々に低下し、国民の緊縮財政の緩和を求める気運が高まっています。
- サマラス首相としては、緊縮財政への国民の不満を背景に支持を拡大してきた野党に対抗し、経済の改善と金融支援の早期終了を強調することで政権を安定させる狙いがあると見られます。

(%) ギリシャとドイツの国債利回り(10年物)



(注) データは2009年1月~2014年11月(2014年11月は11月18日、その他は月末)。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

### 今後の展開

## ユーロ圏の金融安定化の仕組みが整備され、再発は回避へ

### ■11月には単一監督メカニズム(SSM)が始動

ユーロ圏のギリシャの財政破たんはギリシャの国債を大量に保有する銀行の破たんにつながり、金融危機の連鎖が次々と起こる懸念がありました。しかし、前回の危機を教訓として、資本不足の銀行に資本増強を促し銀行監督を強化するSSMがこの11月にスタートしました。

### ■金融危機の再発は回避へ

来年1月には単一破綻処理メカニズム(SRM)も発足し、金融安定化の仕組みは一層整備されます。仮に同国の財政が再び悪化に向かったとしても、ユーロ圏全体の金融システムが危機に陥ることにはつながりにくいと考えられます。

### ここも チェック!

2014年11月07日【キーワード No.1,450】単一監督メカニズム(SSM)(欧州)

2014年10月28日【キーワード No.1,442】欧州銀行のストレステスト(ユーロ圏)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。